

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	1/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

1. 開会【企画財政部長による開会】

省略（1. 開会については、別ファイルにまとめています）

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

省略（2. 市長あいさつについては、別ファイルにまとめています）

3. 趣旨説明

(1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

省略（3. 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明については、別ファイルにまとめています）

(2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

省略（3. 都市計画マスタープラン趣旨説明については、別ファイルにまとめています）

4. 意見交換

【司会】

こんばんは。パシフィックコンサルタンツの齋藤と申します。本日は、先程市長さんからお話いただきましたようにコンサルタントとしての本来の役割として市民の皆さんであるとか職員の皆さんが計画を円滑に作れるように、そして円滑にコミュニケーションが出来るようにと、そういう役回りをさせていただきます。大先輩方の前で司会というのもおこがましいですが、円滑に進められるよう皆さんのご支援を賜りたいと思っております。また今お話しありましたけども大勢の方が出席されておりますので、できるだけ私も多くの方にお話しをいただけるようにしたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

本日は教育・文化というテーマでございますが、今都市計画のマスタープランのお話しもありましたように皆さんの身近な生活の中での道路とか都市計画に関わる部分についてのご意見もあわせていただければと思います。

まずは皆さんの活動の中で考えられ感じていることを都市、将来像など踏まえまして将来に向けた皆さんの考え方とか今の活動の課題等、まず忌憚のないご意見を出していただければと思います。それでは色んなお話があろうかと思っておりますので皆さん実践されていらっしゃる方ですので、日常色んな問題や課題を抱えてらっしゃって将来こうしていったらいいという思いがあると思っておりますので出来るだけ多くということでございますので、どうでしょう最初にどなたか口火を切っていただけると助かるんですけどもどうでしょうか。最後になりますと時間がなくなってくるので最初にできればどうぞお願いいたしま

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	2/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

す。今日は教育・文化ということで皆さん色んなご意見があると思いますが、どうでしょう例えば私なんか子どもを育てる身ですので青少年の話、学校の話しそういうあたりからお話いただければと思いますが。そのような青少年関係の方々いらっしゃいますでしょうか。

【各種団体代表者】

私は、市立の座間市立の相模野小学校のほうで校外指導連絡協議会という団体に活動しております〇〇と申しますが、どういった活動をしているかといいますと児童の安全安心の環境及びそういった情報交換の場を持ちながら、団体の構成としましては各小学校地域、小学校地区の区内の自治会さん、民生委員さん、青少年指導員、補導員、交通指導委員と一緒に地域安全の見守り、情報交換、パトロール等の活動を行っています。

今感じることはやっぱり皆さんも言われているかと思いますが道路事情ということですね。やっぱり児童が歩くところの道路事情というのはやはり狭いところとか危険なところっていうのが何箇所も潜んでおりますので、やっぱり安全に通れるようなところを目指して児童が安心して暮らせる環境を作っていただきたいというのがひとつの意見であります。やっぱり狭いところ、もともと狭いので仕方ないかとは思いますがそういうところを安心なまちづくりでちょっとお願いしたいかなと思っています。

もう1点としましては、子どもさんたちがみんなのびのびと一緒に生活できるとか、子どもが集まってみんなでわいわいできるような安心した環境とかそういった場所が今現在ないわけでどこかの地域に集まっているということもあるんですけども、集まっていると今度逆に周りの人は、子どもたちが集まって何かやっているんじゃないかと不審に思ったりする。子どもたちは子どもたち同士と一緒に楽しく会話していたりするだけなんですけど周りから見ると何かちょっと危険だなというようなことを思われる方もいますし、やっぱりそういう場所もないっていうことも現状だと思うので、のびのびと会話できるようなそういった環境を作っていただければよろしいかなというのが私の意見です。

【司会】

ありがとうございます。今道路事情、安全安心の話と子どもがのびのびと遊んで集まっていられるような場所のお話であったと思います。それぞれ市のほうからお答えしていただく前に、どうでしょう、今のお話しに何か派生して皆さんのほうから道路の話でも結構ですし、子どもの遊び場の話でも結構ですが続けてお話しをいただければより広がっていくかと思いますがいかがでしょうか。

【各種団体代表者】

生涯学習のインストラクターの会の〇〇と申します。今のお話と関連するんですけども私たちの活動は、講座とか教室とか広報に載せていただいて募集して活動しているんですが、なかなか施設、サニープレイス、ハーモニーホールとかそういうところで場所を借りて

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	3/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

やっているんですが、昼間やるとどうしてもお年寄りの方が多い。それでも今まで沢山参加していただいてよかったんですが、今の関連で子どものやはり居場所というのが非常に私たちも私たちの会も心配しております。実際に下校してから夕ご飯までどうやって子どもたちが過ごしているのかというのを把握してないのが現状です。

そういうことで学校支援とかたちをとるならば、私どもの考え方としては、放課後に色々な教室など開放させていただいてそこで色々な遊びとか昔の遊びとか、要するに学校で教えていない事柄、こういうので持って子どもたちのコミュニケーションを作る場、中には塾へ行ったり、色々なご家庭によってあるでしょうが、家でぶらぶらしているというのであればちょっと1時間ぐらいみんなでわいわい騒いで、理科の実験とか学校でやらないようなこととかあるいは職人さんのお話とかそういうのをこちらからアポするとなかなか出来ないんですよ。公募でもって募集させていただくんですが、わざわざ出てこられる、場所に学校各地からですからそういう先生方にもお願いして、こういうことをやるんだけど、どうだとかそういうことをアドバイスとか PR とか今度こんな話がきていたよと生徒のニーズとかそういうのを聞いた上で私たちもそれに向かってやっていきたいなとそんなふうにはやっております。場所が向こうから来てくれるっていうのはなかなか難しいのでそこらへんはちょっと私たちの課題なんです。

【司会】

ありがとうございます。今情報のある意味無機質に言うと情報の交流とかそういう話しになるかもしれませんが実際そういうのがやりづらいもしくはもっとこうあったほうがいいなという話だと思いますので、どうでしょう、もう少しお話しをみなさんにいただきましょうか。

学校放課後の話しでも結構ですし、最初にあった道路事情の安全安心の話しもありましたし遊ぶ場のお話し、今の放課後のそういう色々な生涯学習やられている方々のどうやって皆さんにお伝えしようかという悩みの話しですね。どうでしょう皆さんのほうからもう少しあれば続けてとおもいますが。

【各種団体代表者】

座間の学校給食を考える会の〇〇と申します。よろしく申し上げます。私たちの活動は色々な座間市だったり他市だったりの給食現場、給食関係の調査研究をして市のほうに提案を作るといような活動をしております。その活動から提案したいことは、給食のところでは本当に今言われていますけれども、地産地消ということで地域のものをもっと学校給食に取り入れてほしいということですね。あと米飯を増やしてほしい。それに関しては食育基本計画ですか、健康づくり課で作られるというお話し聞きましたのでそこにきちんと数値目標も入れていただいてそれで関係のところ、団体、学校や保護者、市、農協や生産者、農家の方のやはり協力・連携そして責務もあると思うんです。そのへんのところも明確に入れていただいてそして市としても農家、農地の維持。そうしたまちづくり、地下

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	4/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

水の保全にも繋がると思うんですけどもそのへんも進めていただきたいというのが一番私たちの活動からはあります。

関連で言ってもいいでしょうか。私は子育て支援や児童支援やまた環境に絡む活動を一緒に興味があるのでやっているのですが、そういう中で見えてきたこととしては、市長さんのお話にあった本当にこの市は狭い市なのに人口密度が高いと思うんです。そうしたら、お金もないということで市民の力を使わない手はないとか市民の力をいかに使ってまちづくりが市民のニーズにあったものにして、しかも市民がそこに参加する、市民が見えるまちにしていくお金もかからないですしね。そうしたことにしていきたい、進めていくべきだと思うんです。市と市民が協力して。まさに協働のまちづくりだと思うんですが、そのところでは2点お願いがあって、色んな分野のところで提案してはいるんですけども、1点目はそれを動かすところ市民活動サポートセンターが出来たかと思うんですけどもそこでぜひ協働提案事業っていうんですかね、協働事業を他の市ではやられているところありますけどもやっていただきたい、そこに色んな活動している市民が参加したり、つまり市民の責務をきちんと果たしながら市としてやって市のお金、税金が見えるかたちで市民もそれをうけるかたちで分担して責任を持ってやっていくことが必要だと思うことと、色んな計画を立てるにあたって給食のことでは、計画ほど大きくなくても食器が変わったりとか、中学校の給食も検討されているんですけどもそうした計画を作るにあたって、審議会とか委員会とかあるようですけどそこでの市民参加にとどまる場合が多いように見受けられるんですが、やはりより多くの市民が計画のところから参加するようなここでは何か都市ワーキングが始まったということ、移動サービスの方から聞いておりますけどもそんなかたちの計画から市民が参加する手順をぜひ盛り込んでいただいて、やはり市民にあった計画作りをしていただきたいと思います。その2点を色んな活動市民活動しながら思ったことです。

【司会】

ありがとうございます。協働の話はまた次お話ししましょう。それはそれで膨らむと思いますので、最初のほうに出てきました道路の事情とか交通体系の今後の話しが1点と、あと子どもが集まって遊んでいくような話しの考え方と、生涯学習をされている特に子どものサポートされている方、もしくは生涯学習に対する情報をどう共有していくとかかですね、そういうあたりについて市のほうから、答えではなくて結構だと思いますのでこんなことが今の世の中あるんじゃないかなろうかという話しで結構ですけどもいかがでしょうか。

【市役所】

都市部長の和田と申しますよろしくお願ひいたします。まず最初に道路のお話しをいただきました。安心のまちづくりをしていただきたいということでございましたが、これは多分お子さん小学生中学生が通う通学路が主なお話しかなと思っております。まず全体的なお話しとしましては座間市の総合交通計画というものを今策定作業中でございます。こ

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	5/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

これは座間市全体それから座間市の周りの市町まで考えての総合的な計画でございます。ただ、今おっしゃられた狭い道、通学路等こちら簡単に広く歩道を造ったり、というお話しはすぐにできるお話しではございませんけれども通学路の安全性というものは、必要不可欠という認識をもちろん持っているところでございまして、現在の補完的なお話しといたしまして道路の端っこに白線の路側線というものがございます。その外側を歩行帯というわかりやすい標示としてカラー舗装、まずは通学路のカラー舗装というような事業を今実施しているところでございますが、まだ十分に出来ているものではございません。今後とも続けていかなければいけない事業でございますのでただ今のご意見を十分に踏まえながら、今後の第四次総合計画の中でもしっかりとそのへんのことも取り入れていきたいと考えております。

【市役所】

学校給食の関係でお話がありました。ご承知の通り小学校11校は、自己方式で給食を行っているわけですが、地産地消という地元の野菜をとというようなお話しもございました。現在地元の野菜、栗原の野菜市組合の方に大変なご協力をいただいております。野菜で言うと、約30%は、地場産の野菜を提供しているというそんな状況でございます。私どものほうも少しでも地元の野菜地産地消の率・量を増やしていくというそんな努力をやっていきたいと思っております。また中学校給食の関係もお話しございました。中学校給食に関しましては、21、22年度にそのあり方に関して、どうかたちでの中学校給食を行うかとか、様々な検討をさせていただいております。どのような計画とするか、教育委員会としても考えていかなければいけないと、そのように考えております。以上です。

【司会】

生涯学習のあたりのネットワークのお話しというのは、もう少し皆さんからお話しを聞いたほうが市のほうとしてもお答えしやすいでしょうかね。他方で生涯学習の関係、どうやってお伝えするかというあたりですか、今の協働の話はもうちょっと待っていただけますか。例えば市民同士でどういう生涯学習をやっているのかとか子どもたちの学習の機会を生涯学習でなかなか情報が伝わってかないとか、どうやったらいいかというようなことがありましたけども皆さんのほうから少しご提言とかこういうようなやり方があるんじゃないだろうか、こうすると市民同士の情報がうまくされるんじゃないかとそのために市はこうしたほうがいいんじゃないかというあたりのご提言などございましたら、いかがでしょうか。

【各種団体代表者】

体育協会の〇〇と申します。現在座間市の体育協会19種目団体が加盟をいたしております。その中ほとんどと言っていいんですが各選手がお年寄りとお中学生。空洞化してい

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	6/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

るんですね。働き盛りの人がスポーツに参加してこないというのが現状です。一方では生涯スポーツということで色々な種目の指導者の方々が努力をして60歳過ぎて70歳になろうとも元気にスポーツが出来る人はいることでそういう制度をつくりながら年配者の方も参加できるようなことをしているわけです。

一方子どものほうですが、今どこの市特に座間は非常に盛んなのか、中体連の関係にしても小学生にしても本当に一生懸命スポーツをやります。小学生が中学になってやっています。これが高校になると半減ぐらいでしょうかね。大学ということになりますとオリンピックの選手しか育てないという、昨今企業は、スポーツから撤退をしていますので就職にも影響するから自動的にスポーツをやるよりは将来のことを考えて一生懸命勉強しようということになってしまうのかなとそんな感じはしております。

その環境をやっぱり作ってやらないと、一方では健康なまちづくり、健康都市座間ということで宣言をしているんですが、やっぱりスポーツをしながら健康を育むというか健康をのばすという意味ではやっぱりスポーツはかかせないだろうとぼくは思っています。

そういうことで是非そういう環境を整備してほしいなということが1点と、一方先程市長の話じゃないですが、毎年2千人ずつ65歳のお年寄りが増えると、これから今18%のお年寄りたちが私も今年長寿会・老人会入ったんですが、前から言っていたんです。ぼけ防止のために麻雀をやれと。今現在の若い人はほとんど麻雀をやらないですね。今年の4月から麻雀クラブを老人会で作りまして飲むことはしょうがないんですけども、たばこを吸わない、金をかけない要するにまさに健康麻雀ですね。指先を使ってぼけ防止をしようということではじめました。いま現在12~3人全部で190人近い会員の中でやらない人がほとんどなんですね麻雀を知らない人がその中でも12~3人入ってくれたのでこれからもっと盛んにしようと今頑張っているところです。

それともうひとつは、スポーツ関係で今ゲートボールだとかグランドボールだとかターゲットバードゴルフ、これをぜひ谷戸山公園の一角に空いているところがありますから、そこをなんとか出来ないかと、ある県の関係者に相談したら冗談じゃないと、公園にそんなもん作ってどうするんだと怒られました。私は腹のなかでこのやろうと思ったんですが、やっぱり町の中心にそういう整備、遊び場っていうんですかね、健康を維持するためにそういう遊び場をまちの近く中に作ってやればもっとお年寄りは参加するんじゃないかと、一方新田地区のほうの水源に出来たからそっちに行けと言ったって、これは高台からそこまで自転車で رفتたり、歩いてはとても行かれないですから自動車で行ったりするんですがそういう環境は整備されておりませんし自転車で行って交通事故に遭ったら健康どころじゃなくなっちゃうわけで、本当は歩いてお年寄りが杖をつけてでもいいから歩いていかれるような身近なところ谷戸山がいいなと僕は常々思っています。

当然県立公園ですから県のある職員にそういうことをアピールしたんですが怒られましたので座間市としてそういう法律を緩やかにするという時代が大きく変わっているんですからここはこれが専用、この場所はこういう法律があるからだめ、とそうじゃなくてそれはいいことだということで法律をもう少し緩めるとか見直すとかそういう時代にきてい

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	7/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

るんじゃないかなとそう思っています。もっと色々言いたいことはいくらでもあるんですが、状況と私の考えはそういうことですどうぞよろしくお願いします。

【司会】

ありがとうございます。最初お子さんの生涯学習の話もありましたが、今は高齢者の方の健康づくりの話もありましてそのスポーツの話もあれば麻雀とか生涯学習にあたるような話もあると思いますが皆さんのほうから普段のそういう意味での色んな世代のこういった話しでけっこうですので生涯学習であったり健康づくりとか、これから高齢者の方々が地域の中でいかに活躍するかそこがやはり生涯学習が担う分野だと思いたいますがそういうなかでどうしていったらいいかとかこんな課題があるとか皆さんの日常の問題悩みとかそういうものがあればご披露していただきたいと思いたいますけれどもいかがでしょうか。

【各種団体代表者】

スポーツ審議会の〇〇です。今までのお話しを伺ってそういう体協の組織とかそういうところに積極的に入っている子どもたちはすごくいいと思うんですけど、地域的にみてスポーツと限らず遊びの中で体力が育まれるということはすごく多いんじゃないかと思うんです。

日曜日に子どもの声がしないんですね、まちの中で。私どものところにちょっと公園があるんですけど幼児はお母様と一緒に集まりますけれどほとんど子どもは遊んでいません。これは一体どういうことなのかと思いたっているんですけど、何か年長者と幼い子どもたちとその縦の繋がりっていうのが本当に全く見えませんね。昔夏休みに球技大会というのがありましてその地域の人たちがみんな学年、低学年も上の子ども集まって各学校なんかで球技大会をしましたね。ところが今夏休みの球技大会がないっていうふうに聞いたんですけど、それはどういうことなのか、ちょっと話しから外れますけれど教えて下さる方がいたら伺いたいなと思いたいます。

私どもは6丁目なんですけれど美化デーの時には子ども会が集まって一緒にお掃除を子どもたちもしてくれましてそのときには子どもたちと一緒に行動がとれますのでとても地域的にはいいかなというふうに思っています。そのあとちょっと桜並木の下にお花を植えたり、自主的にしていますのでそのくらい、年に2回ですね子どもたちがそういうふうにして遊ぶのは。昔は子ども会でもわりあいと七夕さまには七夕をつくって道路沿いに飾るとかそういうふうに全学年と一緒に行動するということが多かったんですけど、今はお勉強が大変らしくってなかなかそういうのは少なくなりましたね。そこは子どもがそばにおりませんので今はどうなっているのかちょっと伺いたいなというふうに思いたっています。

【司会】

ありがとうございます。今の子どもたちの状況とあと市の子ども球技大会のなくなった

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	8/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

理由を聞きたいということでその2つだったと思いますが、そのなくなった話しとかその背景については市のほうからお話しをお聞きしまして多分子どもの周りの色んなことをやっている専門家の方がいらっしゃいますので子どもをとりまく環境の背景についてはのちほど今出席の方々からまたご紹介いただければと思います。

【市役所】

今球技大会のお話しが出たんですが、かつては座間の色んな小学校で夏休みに球技大会が行われておりましたが、これは地区の子ども会が組織をしてそして進めていたものです。ところがだんだんその子ども会が成立しなくなっていきまして子ども会がなくなっている地域がいくつもでてくるようになってしまった。そうしますとそういう球技大会そのものが出来なくなってしまっている。そして今にいたっているわけですが、今子ども会のほうでも一生懸命なんとか組織の活性化を頑張らなきゃいけないということで今は先日ですけれど体育館のほうで各地区のそれぞれの小学校の校内でドッチボールをやってそれを体育館の中でドッチボール大会をして子ども会のない学校でも参加出来ますよというかたちで取り組んでいるところですが、少なくともそういう事情でなくなったということです。

それからもう1つ生涯学習の方が子どもたちへというような話しがあったんですが、じつはこれにつきましては学校の総合学習という時間が3時間、今度2時間になってしまうんです。その総合学習の中で地域の方々に沢山いらしていただいて子どもたちに色んな体験活動をしていただこうと、その中には例えば地区づくりであったり家づくりがあったり餅つき大会もあったり、あるいは昔のゲームの遊び方を教えていただいたり、なかには環境問題で学校へ来ていただいたり、そのようなかたちで地域の方々にいらしていただいて取り組みをしていただいているということです。ただこの場合は、要するに教育課程のなかに組み込まれている授業として行っているものですから学校側の計画に基づいて地域の方に是非こういうことでいらしていただきたいということでなっていますから地域の方がこれをしたから学校へやらしてくれってことにはなかなかいかないというような現状があることをちょっとご理解いただきたいというふうに思います。

【司会】

ありがとうございます。先程お話しいただきました生涯学習として実際取り組んでらっしゃって自主的にこういうことをやったらいいんじゃないかということでお子さんと一緒に活動さされている方々も今日は来ておりますので、どうでしょう実際に子どもたちに携わっている方々で子どもをとりまく環境の変化とか実際先程おっしゃっていたように外でなかなか遊んでいる子どもがいないとかそういう年次差といいますか色んな歳、小学生の下から上までが一緒になって遊ぶようなことがないとかそういうのに関して普段子どもと付き合っている立場からご意見を少しいただきたいと思っておりますけれどもいかがでしょうか。

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	9/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

【各種団体代表者】

青少健の〇〇と申します。青少健の立場ということではなくて、ずっと子どもが小学校のときにPTA活動をやっている中学生になったときに気づいたんです。公園って小学校までは遊んでると周りの大人はとても優しい目で見るとは思いますが、中学生とか高校生が普通の子たちでも2,3人でいれば何あの子たちって感じで大人が見てるっていう現状に気がついたんですね。自然と子どもたちは公園から足が遠のく、部活に入っている子は部活で一生懸命エネルギーを発散できるんですけども部活に入っていない子たちっていうのは公園にも行けない、コンビニの前で人と話しているとこれは通報されるっていうかたちで家の中に今度戻ってくるという悪循環がちょっとある気がして、よその市とか県とかに行ったときにバスケットボールとかがある公園なんかだと中学生も小学生も一緒になって遊んでいる光景がわりと多く見られるなっていうのに気がついたんです。座間の公園を見たときにそういうのがないわって思ったんですね。なかなか管理も大変なのかもしれませんが、小学生までしか遊べない公園がじつは多いですよということをちょっとお伝えしたいなと思いました。特別な遊具とかは本当にいらなくて要は、今、昔私が遊んでたような野原がないんですよ。例えばすすきの中に入って遊ぶとかそういうのは無理ですけども、自然と年代を越えても遊べるような環境づくりをちょっと考えていただけるとありがたいかなと思います。

【司会】

ありがとうございます。どうでしょう他の方がでしょうか。

【各種団体代表者】

ガールスカウト57団をやっております〇〇と申します。ガールスカウトは5歳から高校生のまでの女の子が入って色々な経験をして育成していくという社会教育団体なんです。その活動の中には色々ありまして室内でやるものとかまた野外活動もあります。そして毎年キャンプを行ってるんですがその前に必ず宿泊訓練というのを行います。

今私たちの悩みというのはその宿泊施設を探すのが非常に困難で最近ではなかなか泊めてもらえるようなところが少なくなっているという現状があるんですけども、今これからのこの総合計画の中にそういうような一泊の宿泊訓練もしくは何かそういうキャンプが出来るような場所がこの市内につくっていただくと非常に活動がしやすくなって良いかなと思います。よろしくお願いします。

【司会】

ありがとうございます。どうでしょうか他の方は。

【各種団体代表者】

何言うかというのはわかってると思うんですけど、私今ここでは市民活動サポートセン

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	10/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

ター運営委員長という立場にいるのか相模川クラブの立場にいるのか、前に座間市公民館の自然館クラブの代表をやっていましたが、ほとんど子どもと20年ぐらいはずっと付き合い合ってきましたが。それで今色々な意見があるんですけど場所を設定しても色々なものを用意してやっても子どもたちは遊び方を知らない、その場所に行ったら例えば小学生はブランコがあったり砂場があったりしたら適当に遊ぶんですけど中学校高校生が遊ぶっていったらそこでウンチングスタイルでしゃべっているだけ。これを大人が見るとやっぱり良い顔出来ないということだと思えます。今座間市の中でも児童館とか色々なのがあってそれなりの施設はあるんですけどそれは親が勤めに出ているとかそういうことで、そういう子どもたちのためにそういう施設が今出来ている。いくら立派な施設を造っても、遊び方を教えてやらないと子どもは全然遊べないんですよ。今ゲームと学校で勉強をやってクラブ活動で運動をやって、あと家に帰ったら留守番しているか友達同士で夜遊びに行くか、そんなもんです。私たちが色々なボランティアのほうでもイベントをやる。色々なイベントをやります。そうするとそれには子どもが来る。公民館で自然科学の色々なことをやっている、これは人数制限がありまして1年間を通してやるから色々なことをおもしろがってやる。やるのは何かイベント、子どもの中でも科学が好きな子ども自然遊びが好きな子ども色々な子どもがいます。子どもたちに遊び方を教えてやらなきゃいけない。だからそういう機会を沢山作ってあげたいと思うんです。ただ市の縦割り行政でやっているとならば教育関係、何部だから何関係というふうにみんな偏ってしまう。だから市の中でも横のつながりをつけて色々なことを年に何回かやって子どもたちに選ばせる。イベントやって100人、200人集まらなくてもいいんです。20人でも30人でも。そういうことを率先して市のほうが市民のほうに協力していただければ出来ると思うんです。ちょっと抽象的ですけども。

【司会】

ありがとうございます。今遊びの指導者というか、遊びを教えないといけないんじゃないかという話があったと思います。あと市のほうでそういうようなものを少しちゃんと取り組んだほうがいいんじゃないかというようなお話でしたが、最初のお話しに関しては、多分今すでにそういうことも含めてやられているんじゃないかなと思ってお聞きしたんですけども。

放課後以外学校以外のコミュニケーションについてですね、その辺の話しを今後まさしく協働で作っていくということでしょうか。市役所にどこまで求められるのかも含めて一度厳しいふりになっちゃいますけど市のほうに一言いただきますでしょうか。

【市役所】

今のお答えする前に、ガールスカウトのみなさんそれから体協の会長さんのお話しもありました。そんなところでちょっとお話しをさせていただきたいと思うんですけども、じつは一昨日福祉関係のこういう集まっていたきまして色々ご意見伺ったんですけども。

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	11/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

も、老人会の会長さん見えましてね、今65歳以上座間市内に23,000人くらいですね。そのうち老人会に入っているのが2,100人だそうです。悩みを日頃も聞いていたんですけど老人会に入ってくる方が少ない、こういうことで悩んでおられるようです。冗談ですけども老人会が高齢化しちゃったなんて言ってましたけれども。

そんななかで会長さんおっしゃるにはやっぱり組織に加入して色んな活動をしていく。こういうところに活力が見いだせるんだというふうなおっしゃりかたをされていたんですね。ですからチョッピリ先生の会長さんもおいでになりますし色んなことで地域の活動をして今でできました子どもたちへの指導そういったことをおやりになっている。一方その〇〇会長さんのように、お若いのに老人会にお入りになったという方もお見えになりますし、スポーツの団体そして今の生涯学習の皆さんのような団体。多分まだお話しになってない方、さっきの会長さんのように老人会の会員が集まらないとかですね、自治会もそうでした。そんな意見もありました。そういうお悩みっていうのは多分おありになると思います。

後ほどいただければありがたいと思うんですけども。やっぱりそういうサークルの中に入って活動するということがそういう今の話しから聞いておりますと、人付き合いが希薄になってきているというご意見も言っておられました。やっぱり防災のことのお話しもありましたし、そういうなかで向こう三軒両隣といいたましようか、市民同士が助け合うということのお話しもありましたし、皆さんも今子どもたちの話しが中心に出てきましたけれども、今私いくつか申し上げましたような観点から色々なお話が今日出てくればありがたいな教育関係者とかですねスポーツ関係者から出てくるとありがたいなというふうに思いました。ありがとうございました。

【各種団体代表者】

子どもたちの遊び場の件で出ました。私どものほうでは市内11校でゆうゆうクラブということをやっているわけでございます。年間今84回ほど開催しているわけですが、そのなかで子どもたちが放課後、色んな遊びをしていると。その中には色んな方に遊びの指導や様々な活動をやっているんですが、この中にひとつ課題がございます、なかなか役員のなり手がいないと。そういうこともありましてぜひ皆さんに良い知恵がありましたら私どものほうお借りしたいなというふうに思っているところです。

【司会】

ありがとうございました。今お話しありましたけど先程最初お話しいただいた協働の話しにも繋がっていくと思えますが色々皆さんが活動されていくにあたってそして協働していくにあたって色んな人がいなかったり、動かすための色々な困難があると思うんですね。そのあたりも含めて協働したり色んな皆さんが活動したりするうえでの問題意識とか課題とかですねそういうところをお話しいただければと思いますが。お話しにあった協働事業をもっとしてもらえないかというお話しもありましたけれど。その趣旨というかど

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	12/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

んな活動が出来るんじゃないだろうかというのがもしあれば。

【各種団体代表者】

すでに色々な福祉の分野では委託だったり名前が違うかたちで実際には市と一緒にまちづくりをしてると思うんですね。そうしたものを本当にそうした協働という位置づけでやっていただいたり、他の事業もありますよね。環境のことにしても文化的な教育的なことともそうですけれども。

何でも市役所職員の方とか非常勤がやるんじゃないなくて市民も担ってそこに費用がかかればそれを税金でまかなうことになると思うんですけれども、共にまちに必要なことは作っていくということが大事じゃないかなと思うんです。市民活動ももっと盛んになるし、人と人との繋がりが地域で出来てくると思うんですけれども。

【司会】

ありがとうございます。先程ご紹介頂いた今協働の市の中の市民側の窓口のサポートセンターの方に協働していく課題とかですぬ色々な問題点とかご披露していただければと思います。

【各種団体代表者】

披露出来るような内容は無いんですけど、協働というと皆さん頭の中で色々な色がついて協働って言っていると思うんですけど、これが協働だっていう教科書は多分ないと思うんです。法律もない、規約もない。何が協働かって簡単に言えば、行政と市民と企業の三者がそれぞれの得意なものを持ち寄って1+1+1が4なり5になることが本当の協働だと思うんです。ただ一緒に働いているかっていって協働じゃなくお互いにそのルールを決めて、協定を交わしてそれでやらないとみんな自分勝手なことになっちゃうんで、言葉で言うことは簡単ですけど実際やるのは大変で、今市民参加の推進会議というのを開いているんですけど、座間市もそれに向けて一步一步進んでいく、進みつつあります。だから近い将来は多分ひとつやふたつ1年のうちには協働事業なるものの勉強しながら出来ていくと思うんです。今回の計画の中に織り込むにはどうしたらいいかということで、その中に今第三次の中を見ると推進しますとか努めますとか目指しますとか進めますとかみんなそういう言葉で終わっています。その中に行政は行政の立場としてこういうやり方をやります。というふうなことがないので行政もこうやるよっていうことも入れてくれればありがたいと思います。協働は多分進むと思います。

【司会】

ありがとうございます。はいどうぞこちらの後ろの方

【各種団体代表者】

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	13/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

図書館にボランティアをしています〇〇と申します。先程の話しですけれども私たちの活動というのは図書館長さんもいらっしゃいますけれども、図書館って協働というふうに考えられるかどうかわかりませんが図書館が出来ないこと、または市民が出来ることを協力しましてパートナーとしてやっていこうというかたちで活動しているんですけれども、図書館というのが読書を、本を借りるだけの施設ではなくて新聞もありますし、それから視聴覚室もありますし色々な資料があるんですけれどもそういう資料を活用して生涯学習の場としまして使っていただければと思っています。

この座間市の図書館を大人の方たちもかなり本当に上手に使っていると思うんですけれども、子どもたちがまだまだもうちょっと活用するには学校図書館をもう少し整備していただいて私たちも図書館と協力しまして夏休みの自由研究の活用講座とかそれから図書館の施設見学とかそんなものも行っているんですけれども、もうちょっと学校支援といいますか子どもたちの学校の授業に支援できるようなかたち、勉強が出来る子たちをつくるのではなくて、考えていけるちからを持っている子たち、そういう子たちをつくるために学校図書館を活用できるようなかたちにしていきたいと思っています。

【司会】

ありがとうございます。どうでしょうかその他の方。他のテーマでも一応ここでひとまずこの話しをしまして、それでは今行政の三次の計画のむすびの、言葉尻の話もありましたが、行政として何をやっていくかっていうのを今回の結果どういふふうにつくって計画として見せていくとか、あとは今図書館の活用についてこうあったほうが良いんじゃないかというようなアプローチがございましたけれどもそういうのを今後こういう計画を作るなかでどういふふうに組み込んでいこうとかどういふ段階がまだあるのかとかですね、最初にお話しいただきました今後計画の作り方やそういうところに市民の方をどう反映したらいいのかとかですね、そんなお話しもあるかと思しますので今回の計画の作り方で結構ですし考え方について市のほうから一言いただければ次の話題にいきたいと思います。

【市役所】

企画財政部長の宮代でございます。今第三次総合計画の言葉の中で具体性がなかなかいかたちで非常にわかりにくい部分が確かにございます。そういうことを含めましてこの次期総合計画については大きく4つの視点から計画を進めたいと考えてございます。

まず1点目は、先程来から話しがありました協働ということですね。これにつきましてはやはり市行政のみならずやはり市民の方々と一緒になった計画作り、さらには役割分担、やはり市が行うところ、そして市民の方々がやはり負担を負ってもらうところを明確にしながらか進めたなかでの計画作りを実施していきたいということで、次の計画の中に盛り込みたいと考えております。

それから今まではどうしても目標が明確になっていない部分もあったかと思えます。第

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	14/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

三次総合計画の内容についても、良い部分も沢山あるかと思えますけれども、私共の次の計画の中では目標をしっかりともって市民の方に明確に示すと、そしてさらには成果がでる、こういった計画作りをしていきたいと考えております。

それから先程趣旨説明のほうでご説明しましても、それにあわせて実行性を確保した計画作り。せっかく作っても実行がされなければ何もならないということであくまでも実行可能な計画を作るといってございませう。

それから4つめでございますけれども、計画をするにあたっては色々な準備がございませう。10年間の計画を作っていくわけですけれどもやはりそのなかでも特に重点的にこういった事業については10年を目指したなかで成果としてあげていくということで今回は、その重点目標にかかわって戦略プロジェクトという、具体的に項目をあげまして、10年後を目指してこういうふうにあたっていくということで、以上4つの大きな視点から、次期総合計画については実施をしてみたいと思っておりますので色々なご意見をいただいたなかでこの計画のなかに反映させていきたいとこのように考えております。以上です。

【司会】

より具体的になっていくというようなことがあるようですね。それでは

【各種団体代表者】

学校図書館のことについてお話しありましたように一言お話ししたいと思います。私も同様でございまして、もっともっと学校図書館を充実させなきゃいけないなと、もっと活用しなきゃいけないなというふうに思っております。この学習指導要領の改定のなかでも調べ学習とか、そういうことをもっと力を今後入れていかなきゃいけない、もっと図書館を活用していかなきゃいけないということで読書については多くの学校で朝の読書運動をやっておりますし、小学校では読み聞かせで地域の方々においでいただいていただいているということもございませう。さらに広げるようなかたちにできればいいなと思っておりますし、そういうこともまた各学校のほうにも話していきたいなというふうに思っているところです。

【司会】

それではお時間もせまってきていますので先程次の話題ということでお伝えいたしましたけれども。

【各種団体代表者】

座間市人権関係団体の〇〇と申します。ただいま教育関係で色々ご意見をいただきました。私も勉強になりました。私の提案でございませうがこの総合計画策定の趣旨と枠組みのなかで、4ページに分野別の特性と課題ということで健康福祉分野、このなかで今後10年間急増することが予想されている高齢者に対し健康を維持し生きがいを持ち生活社会の一

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	15/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

員として活躍できるよう効果的・効率的な施策を生み出し重点的に取り組む必要があります。

医療体制については、充実とともに市民のニーズの高いものの神奈川県保健医療計画において設定する維持医療云々ということになっておりまして、基準病床数を上回っているのが現状ですというふうに結んでございます。これにつきましては座間市には何もございませんね。それからこれにつきましては、海老名市と綾瀬市が自治体になってくる現状ではないかと私は考えております。これらの医療体制につきましては、座間市におきます昭和61年から65年のローリングされた後期基本計画のなかにも確かに同じようなものが盛り込んでございます。

ちょっと読んでみますと、健康で生きがいに満ちた社会を実現するため予防から医療、リハビリテーションを一貫した総合保険体制を推進するほか保険医療医師会と関係機関との連携により市民の健康管理体制を確立し不安のない充実保険サービスの提供に努めるということが61年度でございます。それから23年経っております。

ここで今回のこの策定につきましても座間市の目指すビジョンのなかで2番目の市民生活像、健康への取り組み安心健やかなまちということで、安心して健康な生活を楽しんでいますということですけど、今私どもの座間市のなかでは高齢病院それから総合病院はひとつもございません。これらはただ、このビジョンに載せるだけの問題になってしまっているのではないかと思います。それから私ちょっと感じたんですがこのニュースレターをはじめで見させていただきました。この中で子ども議会議員の提言質問のなかで市内に総合病院を誘致してほしいというのが目につきました。これは、私ども地域の者全員の要望でもございますし、座間市民万人の願いではないかと思います。この医療体制があってはじめて住み良い座間市が確立できるのではないかと考えております。財政問題もあろうかと思いますがぜひ力を入れてほしい、していただきたいと願うものがございます。以上です。

【司会】

ありがとうございました。最後にむすびの言葉で財政状況もあると思いますがというようなところでむすんでいただきましたが、多分色々皆さんのご要望の件でもあると思いますので、2日前ですかね色々医療の関係でご提案をしていただいた方もいましたので、医療体制の今の状況とか課題といいますか色々市民の他の方の意見も結構だと思いますが。一言市のほうからもいただいたほうがよろしいでしょうか。

もうそろそろ時間が迫っております、せっかくこういう機会でございますので、また一言二言、今そちら手を挙げたが方いらっしゃると思いますので

【各種団体代表者】

男女共同参画のほうで今回お声がかかりまして、ちょっと性格が違うところなんですけど、具体的には問題というか方法論といいますか、考え方でちょっとお願いしたいと思います。

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	16/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

行政のほうではずいぶん熱心に男女共同参画ということで色々と女性のエンパワーメントにご配慮いただいているんですが、ここで個人的な感覚で例えば地域のほうですとどうしてもやはり男性が根強い地域に受け取れます。先程ありましたように少子高齢化とか色々とありまして人材のお話しができました。人口の半分は女性です。

生活目線という意味では女性の意見がもっと反映されるべきだと思います。例えば防災のときの備蓄のものについて、女性の目線で本当に準備されているのかとか、先日確か前千葉の知事さんからお話聞いたんですが、知事会で調べたところ全国で防災について女性の視点で備品について調べたところはどこもないというような、全国的な話しですが、例えばこれからも色々な施策決められていくと思いますが、その段階で常に女性の意見が何か反映されるような機会を設けていただくようお願いしたいと思います。

多分行政のほうの色々ともうやってらっしゃると思うのですが、地域の色んな団体の方がいらっしゃいますので人材枯渇とおっしゃっていますが、人材は実際にいるわけなので今まで社会的弱者扱いされてきました。女性はじつは弱者扱いされるとちょっともったいない存在だと思うんです。これからまた少子高齢化の問題、高齢化の方も色々とでてきます。また障がい者も色々と出てきます。ユニバーサルデザインというのがこれからのキーワードになりますよね。

これで色々と都市計画についてもみていただければいわゆる昔で言う社会的弱者、これが今これから非常に増えてきますので、どうしても高齢化になりますので、これは絶対増えてくる。でそういう意味でもっと人材活用という意味で潜在的に今まで意見が出せなかった立場の方を広く入れていただければと、ですから男性女性という意味ではなくて多様な意見を反映できるようなシステム作りということで、色んな団体で色んな立場で策定する時のメンバーに年齢とかバックグラウンドとか色々な意味で多様性を含めてやっていただければより効果的なものができるんじゃないかと思いますのでそういう点で皆様の教育の分野でも文化の面でも医療の面でも、医療も今性差医療とか出てきますので色々とその特性に合わせたものっていうのは必要ですのでそういう意味では多様性の感覚で取り組んでいただきたいというふうをお願いいたします。抽象的すぎてもうしわけございませんが考え方ということでお願いいたします。

【司会】

ありがとうございます。お時間もせまってきておりますので市から一言いただく前に文化の関係で参加されてる方もいらっしゃると思いますけどもその話が今日なかったと思うんですが一言ありましたら、文化関係で大風の話とかですね。もしありましたら一言どうでしょうか。

【各種団体代表者】

他の文化協会から今日は出席をさせていただきました。文化協会は市内の文化団体の連絡協調とか市民に貢献できることをということで発足したわけですが、この協会

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	17/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

に限らず大小様々な団体が市の色々な施設を活用させていただいて活動しております。それをひとつとってみてもやはり市のそうした公共施設等がないということが考えられない、活動の面で考えられないような状況でもありますしこれからどうぞひとつ、そういう面で積極的に場所の確保の支援というようなことについては新しい計画にも積極的に盛り込んでいただきたいと思います。時間もないようですのではしょって申しますと、あとひとつの視点はやはり私の立場で言えば文化でございます。

文化の色々な活動の種を蒔く仕事をぜひひとつ。今もやっていただいているわけがございますけどこれからも続けていただきたい。そして種を蒔いたら育てるということが必要になります。その育てることについて種を蒔くことについてもそうですがまた私どもにならない知恵でございますが一緒にやっていく協働していくということについては是非、今団塊の世代の皆さんが有能な方々が地域社会に帰ってきてらっしゃいますのでそういうのを活用する意味で是非ひとつ呼びかけていただければ芽は出てくるだろうとこんなふうに思っておりますのでよろしく願いをいたしたいと思っております。まとまりませんがこの程度で。

【司会】

ありがとうございます。あと話題としてありました国際交流とかそういうようなのはいかがでしょうか。

【各種団体代表者】

座間市の国際交流協会からまいりました〇〇と申します。今日のレクチャーを最初のほうのお話しを聞いて国際交流協会としてやっぱり問題意識としていかなければならないのが少子化高齢化ですね。なぜかというところを補完するように外国籍の労働者ですね、こっちに入り込んでくるわけですね。このパワーポイントの7ページのグラフをみるとこの角度で労働人口が減っていくと思います。このグラフに外国籍の労働者人口をプロットするとおそらくきれいな「X」ができるんじゃないかと。ということはこれからこのまちに外国籍の人たちがどんどんどんどん増えてくるというふうなことで、この人たちをどうして座間市民として迎えるかということがひとつの大きな課題となるんじゃないかと。我々もある程度のことは日本語教室とか色んなことをやっていくんですけどもやはりもう少しシステムティックにきちんとしたやり方でやらないといけないんじゃないかと思っております。

ひとつ、目の色が違う人種が違うということで座間市民じゃないというような全然関係なくて、日本の社会をよく理解してそれで、かつ言語、言葉これは「話す、聞く」じゃなくて「読む、書く」も含めたことで座間市民としての社会人としてきちんと成長すればこれはもう全く支障がないことで。こういう協力システムをどういうふうを考えるかというのがひとつの我々の課題じゃないかと思っております。

もうひとつが、やはり日本人というのは宗教にいい加減ですよ。あるときはキリスト教あるときは神道あるときは仏教、ところが入ってくる人たちはこれが非常に厳しい。と

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	18/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

ころが座間市内見回してイスラム教の寺院はないですね。それから高い尖塔をあげたキリスト教の寺院というのものない、ということでこの辺も我々座間市民としてはよく理解してあるいはそういう人たちの宗教のうえでの摩擦をおこさないということもひとつ必要な点かと思うんです。特にイスラム教この人たちはどんどん増えてくると思います。必ず摩擦がおきるんですね。これはフィリピンあるいは中国、それからパキスタンなど、そういうことで紛争がおきていますね。そういったことでこの辺の準備も時間はまだ十分あると思うんです。やらなければならないことだと思います。

【司会】

ありがとうございます。お時間ももうせまってきておりますので後ほどまた10月4日にフォーラムがありますのでその際にまた一言いただければと思いますが、どうでしょうか最後に市のほうからまとめの挨拶をお願いいたします。

【市長】

早いものでもう2時間が経過してしまいました。最後に私の方から、今日いただいた貴重なご意見、ご提言、そうしたものを踏まえた中で、感想ごと等をお話し申し上げたいと思います。

今日は教育・文化といった関連分野の皆さんにおいで頂いたわけでございまして、お話を承っている中で感じたのが、やはり次世代の育成というもの、これ当然長期の計画ということからすれば、一番大事な視点であるということ、改めて自覚をさせていただいたということ、冒頭私から申し上げた高齢化社会の進展ということからして、このいわゆる高齢化社会という括りの中で、その世代になっていかれる皆さんの今後の安全安心・そして生きがいの創造、最後の最後までやはり元気に豊かに暮らしていただく、これはとりもなおさず座間というまちが健全な形で推移をするんだということになるわけでございまして、そういう部分では精神面、肉体面においても健康、こういったものはやはり、いかに確保していくかってことの大切さっていうものを、関連している皆様のお話の中で承ったわけでございます。そうした中で、色々な課題が今日も見えてまいりました。

まず、総合して言えることは、やはりコミュニティのあり方という課題であろうかという風に思います。これは昨日・一昨日もそれぞれ別の立場の中でこの指摘があったわけでございますけれども、放課後子どもたちが遊んでいる姿、確かにおっしゃっていただくとなるほどと思うのですが、小学生が遊んでいるのに違和感はないんだけど、確かに中学生・高校生、体が大きくなった子どもたちがちょっと群れていると、何か悪いことしているんじゃないかっていう見方をしている部分が、私の中にもあったかなと思うと、自分たちが子どもの頃と比較をすると、何と狭い考え方をしているのかと、この中にやはり、今の日本の社会が抱えている大きな課題というものがあるんじゃないかということ、改めて感じたわけでございます。

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	19/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

この座間自体が戦後64年間の経過の中で、当初は本当に1万人に満たない町だったというところが、ずっとこの都市化、そして高度成長の波に乗って、外から人が入ってこられて、いわゆる東京、横浜のベッドタウンとして、居住地として選ばれた方が住まわれていって、知らず知らずのうちに人口が10万を超え、今では13万人に近づく、おそらくこの辺がピークになるかと思えますけど、そういう方たちが集まり、相集い住まうようになってきた。そういう時代背景の中で、ますます私の子どもの頃を考えると、親の世代というのは兄弟たくさん、おじさんおばさんも名前を覚えきれないほどいたとか、それから3世代で同居している家がいくらでもあったわけですし、はたまたそのご近所・隣、お互いが顔を知っていて、先ほどの球技大会の話ではないですけれども、そういったイベントはもちろんだけれども、ごく自然にご近所同士でも付き合いができていた。ところが今日、球技大会の話もございましたけれども、これからこの週末から市民レクリエーションが、あちこちで始まりますけれども、これすらできなくなっている、住区があるわけでございます。

それで、そういうことを含めて考えていくと、13万人近い人が住んでいらっしゃるわけですけれども、本当に自分たちが生活している空間・コミュニティっていうものが、本来ならばこの日本の、われわれの先祖っていうのは村落共同体の中で、村社会の中で生きてきた、その中でお互いにDNAの中に刻み込まれたように、善行の秩序を守って、相手を思いやりながら生活をしてきたという部分があったわけですけれども、それがいつしか地域とは関係なく会社に勤める、また子どもたちも小学校・中学校はいいんでしょうけれども、高等学校・大学と上がるにしたがって、地域と離れたところに自分たちの生活基盤を求めていく、そういう状況になってしまっている。その中で、今度高齢化が進んでいくと、特にまったく同じような体験をされている方もいらっしゃると思うんですが、いわゆるエコノミックアニマルといわれた時代に、猛烈サラリーマンとしてここをベッドタウンのねぐらとして、朝早く仕事に出掛けられて、夜遅く、午前様で帰ってくると。ところがリタイアをすると、今度は奥さん方から粗大ごみにされると。こういうお父さんたちもいっぱいいらっしゃる中で、この方たちが、先ほどどなたかおっしゃっていただいたんですが、本来人材にならないといけない。地域を支える、また人生経験豊富な方たちが、地域の中でお互いにもう1回コミュニティってものを築きなおして、お互いに顔が見え、支えあい、ここの中で生きがい創造していけるような、こういうものを作っていないといけない、これまた私は、これから先の今後の次期総合計画を考えたときに、まち自体が活性化できるかできないかというポイントがかかってきているのではないかという風に思うわけです。

それを支えるための、都市基盤の関係、これは当然行政としてできる限りのことをやっていかなければいけない。その部分を支えるソフトの部分、いわゆる人と人とのつながりの部分、これは行政がそれなりのリードをするにしても、それをやっぱりきちんとともにやっていただく部分というのが、市民の皆さんであるわけでございまして、そこに協働という言葉が生きてくるんであろうという風に思います。ただ協働という言葉は、本当に漠

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	20/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

然とした言葉で、一昨日には協働という言葉自体を役所の職員はわかっちゃいないんじゃないかと、こういうお叱りも実は頂戴したわけです。今日もある会合でその話を私もしたんですけど、確かに難しい、ただお互いに先ほどおっしゃっていただいたように、〇〇さんからお話あったように、行政と市民と、それから企業、所謂実際に動かしていただくようなオーガナイズーション：組織との間が Win-Win-Win の関係を持って、ともに手を携えてやっていくという関係が、どうしても必要になるわけですし、それをこの色々な角度から模索をしていかなければならない、という風に、今日また改めて強く思ったわけです。

その中でやはり生かしていかなければならないのは、コミュニティがずいぶん変容したとは言いながらも、先ほど体育協会でも、ちょうど中間の世代が空洞化しちゃっているという話がありましたけれども、それにしてもひっくり返して考えれば、こどもや高齢者の中にまだ残っている。それは、それ以外の例えば文化協会でもそうですけど、文化サークルがあり、また生涯学習の関係で、各地のコミセンがあつて、その中にサークルがある、そうすると地域の方が、それから座間市内全域に広がるから、同じような興味を持たれた方が、集われて、もっと広い意味で点在するような形になるかもしれませんけれども、人と人とのつながりはそこにできているわけですよ。そういったものを色々な角度から重ね合わせていった中に、人と人との接点というものを作り、その中に新たなふれあい、そして相手の顔が見える関係というものを、このまちの中に構築しなおしていく必要が、私はあるんじゃないかという風に思うんです。

この座間のまち、今日お配りした総論の中にも、住宅都市としてここまで来てしまっているといったような記述があつたと思うんですが、これはもう座間だけの話ではないと思うんです。全国、そういう都市はいっぱいあると思いますし、実際そうでなくても、地方都市においてもコミュニティが壊れてしまって、さらに高齢化も進んで、限界集落という言葉もありますけれども、何も限界集落は地方都市だけではなくて、都会の中にも、まあ具体的に名前挙げちゃっていいかわからないんですが、多摩ニュータウンですとか、お隣の町田あたりにも古い団地がある。この近隣でも、相武台に住宅供給公社の団地がある。高齢者率が非常に高くなっています。こういったところで、やはりお互いに助け合う関係を作っていくという動きも実際に芽生えているわけですし、そうしたものも色々参考しながら、お金をかけずに、お互いが生きがいを創造し、その中で頼りあうというか、安心してもう1回その中に身をゆだねていくことができるような、そういうまちを作っていくかなくてはならない。それが私この3日間通して、各方面の皆さんから伺った中での共通した思いでございます。

その中でもうひとつ、忘れてはいけないのは、私どもは行政として、市として総合計画を実行していこうとしております。今国政は自民党・公明党の政権から民主党の政権に移ったと、この1ヶ月間にいろんな動きが出ております。おそらく政権交代があつたということは、国民全体が大きな不安感と、これからどうなるんだろうかと、年金の関係、それから介護の問題、さらに先ほどお話もあつた医療の問題、これからの高齢化社会を踏まえた中で、どうしていったらいいのか、何とかしなければいけないんじゃないか、その出口

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	21/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

が見えないがゆえに、こうした大きな変動があったと私は思っておりますし、それにまたいわれているのは、この座間市の行政でもあるわけです。

地方分権改革という話がある中で、税源移譲がきちんと行われていない。それから事務事業の配分等についても、どこまでを基礎自治体の私どもがやるのか、これについても、この政権交代がある中で、もうひとつ見えてこない部分がある。

具体的に後期高齢者医療制度については、一回やめてしまって新しいもの作りますということ、今の政府はおっしゃっています。また介護についてもそうですし、障がい者の自立支援の関係についても、大きな方向転換があるかもしれない。これは、大きな私どもの日本社会の揺らぎの中で、もっとよいものを作りたいという中で大きな、もがきだという風に思っておりますけれども、こうしたものをやはり視野に入れたいといけない。

具体的に医療の関係でのご指摘も頂いたわけですが、これも弁解がましい話になるかもしれないんですけど、二次保健医療圏における既存病床数4,785病床、これが基準病床数4,750病床を上回っているという表現、これは私どもがしているわけではなくて、県央の医療圏という位置づけの中で、国がこういう定めをさせてしまっている。これ以上の病床というものは、現在の病床過剰という数字である以上は、病院を誘致しちゃいけないという定めがされているんです。これは私たち自身も矛盾に思っている。私たちのまちの中で過去この5カ年間を見ても、二次医療を担当している病院は相模台病院と相武台病院の二院しかなくなってしまった。ひばりが丘病院ですとか、座間の厚生病院とか、これを止められたり、病院がなくなったりしている。これは市民の実感、私らの実感です。しかしながら、広域的な医療連携という中에서도、その中にあるんだから、これでいいんですという定めがされてしまっている。こういう国が、県が定めている方向性というものと、地方公共団体が求めている地方分権のあり方の中での、この矛盾、それから背反、これをきちんと織り込みながら、不安を解消していかなくてはならない。こういう定めがある以上、だったら広域連携・公営企業圏という言葉が言われるのであれば、その前提の括りの中에서도、市民の皆さんの医療に対する不安というものを、どのように汲み上げて対策として講じていかないといけないのか、こういう考え方をしていかななくてはならない。こういう考え方もあるわけです。

そうしたことを総合的に勘案しながら、今日また個別に大きなサジェスションを頂きました。こうしたものも編みこませていただきながら、皆さんの思いというものを最大公約数的にきちんと謳いこみ、そしてさらに推進しますとか進めますということではなく、具体的に「そういうことをやるんだな」ということが見えるような計画策定というものをやっていく、そして、これから先将来に向けて非常に揺らぎが大きい、また経験したことがない社会構造になるということから、柔軟に、2年間でのローリングというもの、すなわち改定というものも、勇気を持ってやるということに対応していきたいという風に思うわけです。

今日は各団体に立ってのご意見・アドバイスを頂いたわけでございますけれども、先ほど申し上げましたように、4日にはフォーラムがございます。また地域別に懇談会も設け

件名	各種団体懇談会 【教育・文化】	頁	22/22
日時	平成21年9月30日(水)	場所	座間市役所 5-1 会議室

させていただいて、今度は地域ごとの課題といったものも承ってまいりたいと思っておりますし、そうした多面的なお考えというものを頂きながら、今後真剣かつ中身の深いものにできるように取り組みを進めさせていただきたいという風に思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

本日は本当にありがとうございました。